

災害に強いまちづくり 移動しやすいまちづくり

わたしたちで気楽に語り合いませんか

西淀川交通まちづくりプロジェクト1回目を開催しました

11月26日(土)に、あおぞらイコバにて、今年度の西淀川交通まちづくりプロジェクトの1回目を開催しました。参加者はスタッフ、講師を合わせて全部で12人です。少人数で和気あいあいとした話し合いになりました。



西淀川区の現状の防災対策について

まず、大阪市西淀川区の現状の防災対策について、大阪市の区政会議の資料を元に、あおぞら財団から報告しました。

- 西淀川区は、平坦な低地で自然排水が困難なため、大雨、津波による水害に対して弱い地形。
- 収用避難所は小学校が指定されているが、水害の際に機能するかが課題。
- 学校と市営住宅だけでは避難者を収用できないので、民間ビルの協力が必要であるが、今から取り組む。
- 高齢者・障害者・妊産婦・乳幼児・病弱児などの避難についても、今後の課題。

災害時の避難に関するお話

次に、西淀川区社会福祉協議会のボランティアコーディネーターの阪本直美さんから、「災害時の避難について」のお話をいただきました。阪本さんは、東日本大震災の災害支援のために、岩沼、気仙沼を訪問されています。阪本さんは、防災グッズなどを持ってきてくれました。阪本さんは、一斗缶を活用した非常用トイレをつくることをすすめています。



ヒアリング調査で聞いた西淀川区民の声

防災に対する西淀川区民の声について、あおぞら財団で行ったヒアリング調査を元に報告しました。

- 町会に入っていない人が増えており、障害者や乳幼児などの支援を必要としている人がどこに何人くらいいるのか分からない。(高齢者施設の職員)
- 障害者の施設などでは、職員だけで利用者を避難させるのは困難。大規模災害時に、周辺の企業や中学校などの協力があると心強い。(障害者施設の職員)
- 普段は車いすで移動しているが、緊急時には抱きかかえないといけない。周囲の人の助けが必要。(障がい児の保護者)



みんなの災害避難に対する思い

最後に、参加メンバーの方々に、災害避難に対する各自の思いを話してもらいました。

■災害への備え

- 家族でも防災ミーティングが必要。災害の時にどこで家族と落ち合うのか、避難ルートなど。
- 避難訓練は下に逃げるだけでなく、上に逃げる訓練も必要ではないか。

■避難方法について

- 学校と市営住宅に避難できる人の割合が少ないことにおどろいた。
- 災害時には、まず、自分の身を守る。次に家族。そして、両隣を助ける。
- 高齢者、障害者に手をさしのべるのは行政だけでは無理。コミュニティで助ける。
- 利用者（病院なら患者さん、保育所の子どもやお年寄り）に対して職員が少ない。どうしたらよいか。
- 防災行政無線がどこにあるのか分からない。無線を訓練の際に使うと、意識が高まるのではないか。



参加のごあんない 参加メンバーを募集しています

- 3月11日に起きた東日本大震災を受けて、西淀川区でも災害発生時の避難に対する危機感が強まっています。
- 災害時の避難は普段の移動のしやすさにも繋がっていることから、今年度は「災害に強いまちづくり」に合わせて「誰もが移動しやすいまちづくり」にも取り組む予定です。
- 2011年11月から2012年3月までに、会議とヒアリング調査を行い、最後に行政や学識経験者、西淀川区民の方々とともに、意見交換会を行います。1月以降の日程は、参加者の都合に合わせて決めます。
- 今年度、話しあったり調査した内容は、「防災パンフレット」と「西淀川バリアフリーマップ」としてまとめて、必要な方々に配布する予定です。

2回目の話し合い

日時：12月25日（日） 午後1時半～3時半 場所：あおぞらイコバ（あおぞらビル 1F）

- 高齢者、障害者、乳幼児を対象とした災害時の避難について、私たちが何ができるのかについて話し合います。
- 話し合った内容をふまえて、1月に高齢者、障害者、乳幼児の父母等にヒアリング調査を行う予定です。

氏名	
職業・所属	
電話	()
FAX	()

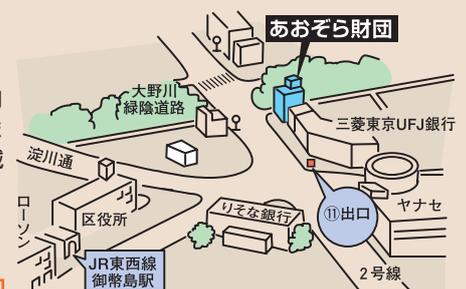
(申込先) FAX: 06-6475-5885 e-mail:webmaster@aozora.or.jp
申し込み締切：12月22日（木） 担当：藤江、谷内

あおぞら財団

大気汚染公害の責任を問う西淀川公害裁判（1978～1998）の公害患者が「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を基として、1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4F(Tel) 06-6475-8885
(Fax) 06-6478-5885 e-mail:webmaster@aozora.or.jp (web)http://aozora.or.jp/

今年度の西淀川交通まちづくりプロジェクトは、大阪ガスグループ福祉財団の研究・調査助成を受け、あおぞら財団が事務局となって実施しています。
<http://aozora.or.jp/archives/category/chiiki/kotumachi>



- JR東西線御幣島駅⑪出口すぐ
- 阪神電車姫島駅より徒歩10分
- JR神戸線塚本駅より徒歩15分